

文学研究科の入学者受入れの方針（Admission Policy：A P）

本研究科の「理念・目的」、「教育目標（人材育成方針）」、D P、C Pを踏まえ、入学者受入れの方針を以下のとおり定める。

**（1）博士前期課程**

**（A P 1）【求める学生像】**

<英米文学専攻 研究コース>

イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育の4つの分野のうち、自らの専門に関する十分な基礎知識を持っている人。

<英米文学専攻 総合コース>

イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育の4つの分野のうち、自分の専門に関する十分な基礎知識を持っている人。

<英米文学専攻 英語教育コース>

英語教育に関する十分な基礎知識を持っている人。

<日本文学専攻 研究コース>

- （1）日本語学及び日本文学の分野において大学卒業レベルの専門的学力を有する人
- （2）学術的な表現のできる高度な日本語力を有する人
- （3）専門分野において学問的探究を行うことに強い意欲を持つ人
- （4）研究成果を発信することに積極的姿勢を有する人

<日本文学専攻 総合コース>

- （1）大学卒業までに修得しておくべき十分な基礎学力を有する人
- （2）学術的な表現のできる確かな日本語力を有する人
- （3）専門分野に関する知見を高めることに強い意欲を持つ人
- （4）専門分野及び関連諸分野に対する幅広い関心を有する人

<社会文化論専攻 研究コース>

歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等のいずれかの分野において、自ら課題を発見し学問的探究を行うことへの強い意欲と豊かな資質を持つ人。

<社会文化論専攻 総合コース>

歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等のいずれかの分野において、自ら課題を発見し学問的探究を行うことへの意欲と資質を持つ人。

(A P 2) 【入学者の選考方針】(全専攻共通)

本研究科では、(A P 1) 【求める学生像】を考慮しつつ、以下の視点に基づいて入学者の選考を実施する。

(1) 多様性の確保

社会人、外国人等の多様な学生の入学を促すため、入学者選抜方法を工夫する。

(2) 公平性の確保

すべての入学者の選考において公平性を損なうことがないように、試験結果を客観的基準に基づいて判定することにより、入学者を決定する。

(3) 基礎学力の確認

すべての入学者の選考において、各専攻に入学するにふさわしい基礎学力が十分に備わっていることを確認の上、入学者を決定する。

(A P 3) 【身に付けておくべき教科・科目等】

<英米文学専攻 研究コース>

(1) イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のうち専攻する予定の分野の科目および隣接分野の科目の十分な知識。

(2) 研究をするのに十分な英語運用能力と日本語運用能力。

<英米文学専攻 総合コース>

(1) イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のうち専攻する予定の分野の科目および隣接分野の科目の十分な知識。

(2) 研究をするのに十分な英語運用能力と日本語運用能力。

<英米文学専攻 英語教育コース>

(1) イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のうち専攻する予定の分野の科目および隣接分野の科目の十分な知識。

(2) 研究をするのに十分な英語運用能力と日本語運用能力。

<日本文学専攻 研究コース>

日本語学・日本古典文学・日本近現代文学のうち専攻する予定の分野の科目及び隣接分野

の科目。

<日本文学専攻 総合コース>

日本語学・日本文学のうち専攻する予定の分野の科目及びそれに関連する分野の科目。

<社会文化論専攻 研究コース>

- (1) 歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等のいずれかの専門分野に関する十全な基礎知識。
- (2) 研究計画を立案・実行する能力。
- (3) 研究遂行上必要な外国語能力。

<社会文化論専攻 総合コース>

- (1) 歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等のいずれかの専門分野に関する基礎知識。
- (2) 研究計画を立案・実行する能力。

(2) 博士後期課程

(A P 1) 【求める学生像】

<英米文学専攻>

イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育の4つの分野のうち、自分の専門に関する高度な専門知識を持っている人。

<日本文学専攻>

- (1) 日本語学又は日本文学の分野において博士前期課程修了レベルの専門的学力を有する人
- (2) 専門分野に関する深い学問的な知識に基づき、独自の研究を着実に遂行し、専門分野の学問的発展に寄与する意欲と資質を有する人
- (3) 研究成果を継続的に公表し、社会に貢献することに積極的姿勢を有する人

<社会文化論専攻>

歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等のいずれかの分野において、修士論文などで一定の成果を得つつ、自ら課題を発見し学問的探究を行うことへの強い意欲と豊かな資質を持つ人。

(A P 2) 【入学者の選考方針】(全専攻共通)

「入学者受入れの方針」を踏まえて、入学者の選抜方法に関する指針を以下のとおり定める。

(1) 多様性の確保

社会人、外国人等の多様な学生の入学を促すため、入学者選抜方法を工夫する。

(2) 公平性の確保

すべての入学者の選考において公平性を損なうことがないように、試験結果を客観的基準に基づいて判定することにより、入学者を決定する。

(3) 基礎学力の確認

すべての入学者の選考において、各専攻に入学するにふさわしい基礎学力が十分に備わっていることを確認の上、入学者を決定する。

(A P 3) 【身に付けておくべき教科・科目等】

<英米文学専攻>

(1) イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育のうち専攻する予定の分野の科目および隣接分野の科目の十分な知識。

(2) 研究をするのに十分な英語運用能力と日本語運用能力。

<日本文学専攻>

日本語学・日本古典文学・日本近現代文学のうち専攻する予定の分野の科目及びそれと密接に関連する分野の科目。

<社会文化論専攻>

(1) 歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等のいずれかの専門分野に関する十全な知識。

(2) 博士論文執筆にむけて研究計画を立案・実行する能力。

(3) 研究遂行上必要な外国語能力。